

### 復興支援義援金のお礼

問合せ／防災危機管理課 内線2326

西日本各地において、「平成30年7月豪雨」により甚大な被害をもたらしました。志木市として7月13日(金)から8月17日(金)まで復興支援義援金の活動を行ったところ、総額72万5千884円集まりました。皆さまのご協力ありがとうございました。この復興支援義援金は、広島県呉市と岡山県倉敷市へお贈りします。



## 10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」

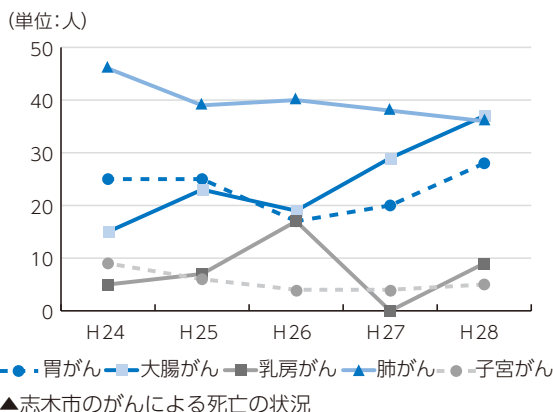
問合せ／健康政策課 内線2477

現在、我が国のがんによる死亡者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位を占めています。しかし、医療技術の進歩により一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となってきました。ぜひ、毎年継続してがん検診を受診しましょう！

### がんによる死亡者の状況

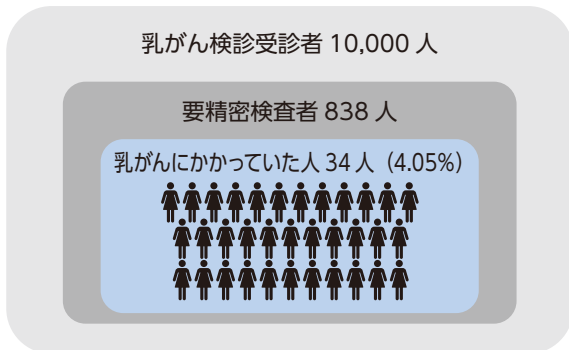
市民の平成28年死因別死亡割合を分析したところ、死因の第1位は悪性新生物(がん)で、続いて心疾患、肺炎となっています。

また、がんの種類別死亡状況は、第1位:大腸がん、第2位:肺がん、第3位:胃がんとなっており、特に大腸がんと胃がんは、平成26年より急速に増加しています。



### データでみるがん検診

志木市の平成28年度のがん検診の受診率は、胃がん7.4%、肺がん7.1%、大腸がん9.2%、子宮頸がん14.8%、乳がん21.3%と、国で示された目標50%より大幅に低い状況です。厚生労働省では、がん検診を受診して、実際にどのくらいの方ががんにかかっていたか、毎年調査を行っており、その報告「がん検診によるがん発見データ」によると、要精密検査となった人のうち実際にがんが発見される割合の最も高い検診は、乳がんの4.05%、次いで大腸がん2.85%、胃がん1.28%となっています。

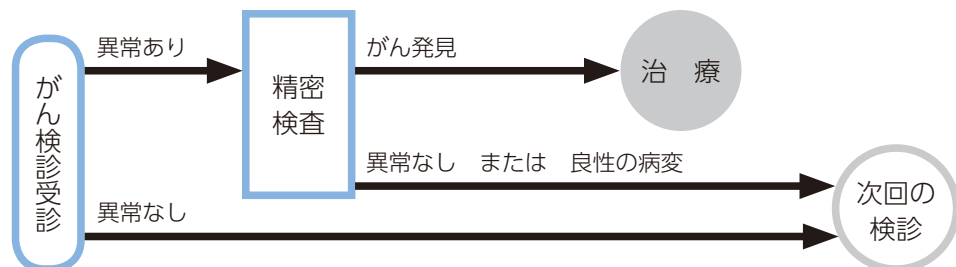


▲「がん検診によるがん発見データ」(例:乳がん)  
(厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」より)

### 「検診結果は自分の身体からのメッセージ」 検診は受けた後も重要です

市で実施するがん検診は、症状のない初期のがんを発見するために有効な検診です。そのため、別の疾病で似た症状がある場合でも「要精密検査」と判定されることがあります。「要精密検査」と判断された場合、すべてが病気ということではありませんが、志木市では精密検査の受診率が非常に低い状況となっています。結果が「要精密検査」となったときは、必ず医療機関を受診してください。なお、市ではがん検診のフォローアップとして、精密検査の受診状況や結果について確認をしています。

### がん検診の流れ



詳しくは、健康インフォメーション(成人保健版)または、市ホームページをご覧ください。

